

日南市在宅医療・介護連携推進室(Sunオリーブ) 行
FAX:0987-21-4722 メール: zaitakuiro@city.nichinan.lg.jp

提出期限
10月6日(金)

《日南・串間医療圏における入退院調整コンセンサスブックの運用についてのアンケート》

事業所名		TEL	
------	--	-----	--

平成29年9月中に、病院から退院した利用者及び病院に入院した利用者を調査対象としています。
事業所内の介護支援専門員1人に1枚ずつご回答いただき、事業所にて取りまとめた上、10月6日(金)までにFAX又はメールにて返信をお願いいたします。

- コンセンサスルールブック策定(平成27年度)から関わっていらっしゃいますか。(はい ・ いいえ)
●【いいえと回答された方】コンセンサスブックの活用について、引継ぎ等の説明はございましたか。(はい ・ いいえ)

担当している全ケースの件数(9月分)	介護	件	予防 (総合事業含む)	件
--------------------	----	---	----------------	---

1 平成29年9月中に医療機関(有床診療所を含む)から退院したケースがありますか? (ある ・ ない)

※ある方はそのケースの内訳を下記にご記入ください。

No.	退院した医療機関名 (市外も含む) 入院期間	医療機関からの 引き継ぎの連絡 退院・退所情報提 供書の有無	情報提供方法(複数回答可)	介護区分 ケアプランへの 反映の有無	退院後の行き先
(例)	相馬病院 (17) 日・月・年	有・無 提供書 提供書以外・無	TEL・FAX・メール・郵送 面接(カンファレンス参加有・無)	要支援(総合事業対象者含む) 要介護 有・無	自宅・施設 その他()
1	() 日・月・年	有・無 提供書 提供書以外・無	TEL・FAX・メール・郵送 面接(カンファレンス参加有・無)	要支援(総合事業対象者含む) 要介護 有・無	自宅・施設 その他()
2	() 日・月・年	有・無 提供書 提供書以外・無	TEL・FAX・メール・郵送 面接(カンファレンス参加有・無)	要支援(総合事業対象者含む) 要介護 有・無	自宅・施設 その他()
3	() 日・月・年	有・無 提供書 提供書以外・無	TEL・FAX・メール・郵送 面接(カンファレンス参加有・無)	要支援(総合事業対象者含む) 要介護 有・無	自宅・施設 その他()
4	() 日・月・年	有・無 提供書 提供書以外・無	TEL・FAX・メール・郵送 面接(カンファレンス参加有・無)	要支援(総合事業対象者含む) 要介護 有・無	自宅・施設 その他()
5	() 日・月・年	有・無 提供書 提供書以外・無	TEL・FAX・メール・郵送 面接(カンファレンス参加有・無)	要支援(総合事業対象者含む) 要介護 有・無	自宅・施設 その他()

2 平成29年9月中に医療機関(有床診療所を含む)へ入院したケースがありますか? (ある ・ ない)

※ある方はそのケースの内訳を下記にご記入ください。

No.	入院した医療機関名 (市外も含む)	医療機関への 引き継ぎ	情報提供方法(複数回答可)	入院前の状況報告書 活用の有無	介護区分
(例)	相馬クリニック	有・無	TEL・FAX・メール・郵送・面接	報告書 報告書以外・無	要支援(総合事業対象者含む) 要介護
1		有・無	TEL・FAX・メール・郵送・面接	報告書 報告書以外・無	要支援(総合事業対象者含む) 要介護
2		有・無	TEL・FAX・メール・郵送・面接	報告書 報告書以外・無	要支援(総合事業対象者含む) 要介護
3		有・無	TEL・FAX・メール・郵送・面接	報告書 報告書以外・無	要支援(総合事業対象者含む) 要介護
4		有・無	TEL・FAX・メール・郵送・面接	報告書 報告書以外・無	要支援(総合事業対象者含む) 要介護
5		有・無	TEL・FAX・メール・郵送・面接	報告書 報告書以外・無	要支援(総合事業対象者含む) 要介護

3 平成29年4～9月中に医療機関(有床診療所を含む)へ入退院したケース数と調整の有無について

4～9月に入院したケース(合計)	
そのうち、医療機関へ情報提供した数	

4～9月に退院したケース(合計)	
そのうち、医療機関より情報提供があった数	

(事業所名)

4 以下の設問についてお答えください。

【設問1】「日南・串間医療圏における入退院調整コンセンサスブック」を運用して、連携がうまくいった事例(うまくいったと思われるものも含めて)がありますか？ (ある・ない) ※ある方はその事例について、教えてください。

(例1) 相馬総合病院に脳梗塞にて入院していた事例。要介護2, 75歳男性, 夫婦2人暮らし。入院時情報提供していたところ, 退院1週間前に病棟看護師より連絡があり, 退院前カンファレンスに参加。福祉用具導入や住環境の整備等, 専門職による意見を聞くことができ, スムーズに在宅へ移行できた。本人・妻からも, 「安心して退院できる」との言葉があった。

【設問2】「日南・串間医療圏における入退院調整コンセンサスブック」のコンセンサスルールに沿って伺います。
※該当する番号を○で囲んでください。

質 問 内 容		4	3	2	1
		非常に そう思う	そう 思う	そう 思わない	全く そう 思わない
①	担当している利用者が入院した事実を、早い段階で医療機関と共有できている。	4	3	2	1
②	利用者が入院したら、できるだけ1週間以内に、原則として医療機関訪問により(連絡がとれない時はFAX等により)入院時情報提供をしている。	4	3	2	1
③	利用者が入院したら、医療機関から入院時点での入院診療計画等について情報提供がある。	4	3	2	1
④	退院後に介護保険サービスが必要と思われる患者で、入院前にケアマネがない場合(介護保険認定をうけていない、又は、ケアマネが決まっていない)、早い段階で医療機関より連絡がある。	4	3	2	1
⑤	医療機関から、退院前カンファレンスの実施について連絡を受けた場合、なるべく参加できている。	4	3	2	1
⑥	退院前カンファレンスが実施される場合、医療機関から早めの連絡があり日程調整ができている。	4	3	2	1
⑦	なるべく早く、双方で連絡を取り合うなど、退院に向けた情報共有ができている。	4	3	2	1

【設問3】入退院連携調整について伺います。※該当する番号を○で囲んでください。

①	自分はコンセンサスルールを理解している。	4	3	2	1
②	勤務している事業所では、コンセンサスルールの周知ができている。	4	3	2	1
③	医療機関では、コンセンサスルールの周知ができている。	4	3	2	1
④	運用前と比較して、ケアマネの役割を理解してもらっている。	4	3	2	1
⑤	退院時に患者や家族は、病状や退院後の生活について医療機関から十分な説明を受けている。	4	3	2	1
⑥	運用前と比較して、医療機関との連携は円滑になった。	4	3	2	1

(事 業 所 名)

【設問4】H28年度合意された内容(別添参照)に関して伺います。※該当する番号を○で囲んでください。

質 問 内 容		4	3	2	1
		非常に 思う	そう 思う	そう 思わ ない	全 く そ う 思 わ な い
①	転院時に、病院からケアマネに連絡を受けている。	4	3	2	1
②	入退院を繰り返す患者へ、ケースバイケースで対応できている。	4	3	2	1
③	短期入院の患者へ、ケースバイケースで対応できている。	4	3	2	1
④	自施設の職員へ、コンセンサスルールに関して周知不足の解消に努めている。	4	3	2	1

【設問5】【設問4】④で「4」「3」を選択された方はどのようなことをされましたか。

(例)新規職員へ向けてコンセンサスブックについて勉強会を開催した。

【設問6】「日南・串間医療圏における入退院調整コンセンサスブック」Ver1.0→Ver2.0へと改訂後、何か変化はございましたか。(変更部①転院時対応追加②有床診療所追加) (ある ・ なし)

※ある方は、どういった点か教えて下さい。

【設問7】「日南・串間医療圏における入退院調整コンセンサスブック」についてお気づきの点があればご記入ください。

【設問8】医療機関との連携等についてお気づきの点があれば、何でもご記入ください。

御協力ありがとうございました。